



城西小だより

岐阜市立城西小学校
学校だより
令和7年8月28日

学校の教育目標

輝き共に伸びる

自ら考え たくましく 思いやり
学ぶ子 やり抜く子 支え合う子

『昔の努力していた自分に感謝したい』～「挑戦する心」が未来を拓く～

この夏、岐阜県立岐阜商業高等学校硬式野球部が、甲子園で見事ベスト4に進出し、多く人に感動を届けてくれました。中でも注目を集めたのが、生まれつき左手の指がないというハンディキャップを抱えながらもレギュラーを獲得し、活躍した外野手です。彼は「自分の姿が、同じような境遇の子どもたちに勇気を与えられたら」と語り、懸命にプレーを続けていました。ピッチャーとして思うように活躍できなかった日々を乗り越え、「バッターとして勝負したい」と監督に申し出て、人一倍の決意と、たゆまぬ努力が実を結び、甲子園で堂々とプレーするその姿は、チームの原動力となりました。野球はチームプレーですので、たった1人の力だけでは勝ち進むことはできません。選手一人ひとりの努力が仲間の力となり、甲子園という舞台での輝きにつながりました。

前期後半スタートの全校集会では、活躍した外野手を紹介しながら、次の3つのことを話しました。

- 1 「できない」ときめつけず、できる方法を考えよう。
- 2 努力し続けることを大切にしよう。
- 3 支えてくれた人への「ありがとう」の気持ちを大切にしよう。

人それぞれに個性や特性があり、得意・不得意もあります。年を重ねていくと、思うようにできずにあきらめたり妥協したりする経験、実らない努力もあることに直面することもあるかもしれません。

小学校1年生と6年生、小学生と高校生とは発達段階が全く違いますが、その年齢なりにできることはたくさんあると信じています。全校集会の話を通して、自分なりに「頑張ってみよう」「続けてみよう」「〇〇ならできそう」など、できること(方法)を見つけ、努力・挑戦しつづけられ、自己肯定感の高い子に成長してほしいと願っています。そのためには、おうちの人・クラスの仲間・先生・地域の方に支えられているという安心感が持てるような、あたたかい励ましや見届けが必要です。「ありがとう」の感謝の気持ちは、自然と湧き上がってきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

【熱中症対策】

日本気象協会の発表によると、9月の気温も全国的に平年より高く、残暑が厳しいようです。引き続き、熱中症対策をお願いします。①暑さに負けない体づくり(食事・睡眠など)②暑さに対する工夫(服装・日傘・ネッククーラー・空調など)③暑さから身を守る(水分や塩分の補給、熱中症指数など)

【タブレットの使用について】

タブレットは、学習道具の1つとして、授業でも活用しています。また、ここタンの入力で、毎日の体や心の様子を確認する手段の1つにもなっています。使用に慣れてきた今だからこそ、今一度「城西小 iPad を使うときの約束」を確認するとともに、大切に使用していきたいです。学校での使用だけではなく、各家庭においても宿題や予習復習、スタディーサプリの利用などタブレットを使用していることと思います。各家庭でタブレットを使用する場合は、使用する時間(1日□□分)や時間帯(午後□時まで)を決めるなど、健康で安全に留意した使い方を話し合っていただけるとありがたいです。

【香料の自粛について】

衣料品の洗剤や柔軟剤に含まれる香料の人工化学物質によって、頭痛や吐き気がしたりする人もいます。香りの強さや感じ方には個人差がありますが、自分にとっては快適な香りでも不快に感じる人もいます。使用量の目安などを参考にも周囲の人にもご配慮いただきながらお使いください。